

報道各社 各位

2014年10月21日

金剛株式会社
代表取締役社長
田中 稔彦

**国のイノベーション戦略に採択
金剛(株)、産総研らと共同提案。**

金剛株式会社(熊本市)は、このたび、内閣府が推進する研究開発事業「戦略的イノベーションプログラム(S I P : エスアイピー)/革新的設計生産技術」に採択されました。本事業は、日本のものづくり産業の競争力低下に対する懸念のもと、地域の企業や個人が持つアイデアや技術・ノウハウを活用した新たなものづくり技術の確立を実証するものです。本事業で確立された新たなものづくりスタイルを広く普及・展開することで、地域発のイノベーションを実現し、新たな市場の創出を目指します。金剛株式会社は、代表提案者である独立行政法人産業技術総合研究所および共同提案者である国立大学法人東京大学、一般財団法人製造科学技術センターとともに研究開発を進め、研究開発成果の事業化も目指します。

1. 「戦略的イノベーションプログラム(S I P : エスアイピー)/革新的設計生産技術」とは

戦略的イノベーションプログラム(S I P : エスアイピー)は、内閣府「総合科学・技術イノベーション会議(C S T I)」が府省の枠や旧来の分野の枠を超えてマネジメントを行い、科学技術イノベーションの実現を目指す事業です。対象とする課題は10課題、実施期間は平成26年度から平成30年度までの5年間。

S I Pの10課題のうちの一つである「革新的設計生産技術」は、地域の企業や個人のアイデアや技術・ノウハウを活かして、設計と生産・製造を相互に繋ぐことで「新たなものづくり」のスタイルを確立することを目標としています。管理法人は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(N E D O)。

2. 研究開発テーマ

「チーム双方向連成を加速する超上流設計マネジメント／環境構築の研究開発」

3. 研究開発テーマの概要

本テーマでは、顧客とメーカー、専門家チーム間等、ものづくりに関わる各者の隔たりを解消し、顧客価値の高い製品・システムの開発が可能になるような設計能力の飛躍的向上のため、超上流マネジメント・環境構築を目指します。

4. 研究開発体制

代表提案者：独立行政法人産業技術総合研究所

共同提案者：国立大学法人東京大学、一般財団法人製造科学技術センター、金剛株式会社

5. 関連サイト

内閣府：戦略的イノベーション創造プログラム(S I P：エスアイピー)

<http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

N E D O：(NewsRelease)府省の枠を超えS I P革新的設計生産技術プロジェクト始動

http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100321.html

6. 金剛株式会社 代表取締役社長 田中稔彦コメント

産業衰退が懸念される日本でイノベーションは喫緊の課題。そのスピードを上げるために産業界からS I Pへの期待はたいへん大きいものがあります。その事業推進の一翼として国から、熊本にありながら当社のような中小企業が選定されたことを嬉しく誇りに思います。それだけに責任も重く、社員と会社が一丸となって具体的な成功を一日も早く収められるよう取り組みます

以上